

1 受地づくり推進事業 (公益目的事業1)

(1) 観光魅力づくり事業 決算額 4,057,245 円 (9,710 千円)

多様化する観光客ニーズに対応した魅力的な観光素材を提供するため、観光素材の発掘・磨き上げ等への支援や広域観光の魅力づくり等を進め、本県への誘客を行った。

ア 開運神社巡り事業

縁起の良い名前を持つ神社八社と、干支にちなんだ所縁神社を巡る「因幡伯耆國開運八社巡り」を磨き上げ、令和4年12月から干支所縁十二神社及び開運八神社の計二十社を巡る「因幡伯耆國開運神社巡り」にリニューアルして実施した。開運祈願の旅を楽しめるよう、対象神社二十社にオリジナル御朱印スタンプを設置し、二十社を巡る「旅印手帖」などのグッズを販売している。

<各種広報媒体>

- ・リロホテルズ&バケーションズ [Instagram]
- ・県政だより (7月号) [誌面]
- ・道の駅 旅案内 (中四国版秋号、中四国版春号) [誌面]
- ・朝日新聞 (12月31日朝刊) [紙面]
- ・ゆこゆこ (4・5号) [誌面]

<旅行商品化>

- ・JA鳥取中央旅行センター

イ 着地型観光資源ブラッシュアップ促進事業

地域のポテンシャルのある観光素材の商品化を図るため、支援制度を設定するとともに、各地の観光協会等との協働や旅行会社の地域活性化事業との連携を目指して情報発信を行った。観光プロモーターによる現地視察も再開し、鳥取県西部地区の新たな施設や辰年にむけた龍に関連する施設の視察や地元との意見交換を実施した。視察した観光素材については、各プロモーターより旅行会社に提案した結果、商品造成につながっている。

さらに、県とっとり弥生の王国推進課と連携し、「とっとり弥生の王国」の商品化に向け、令和5年11月にモニターツアー及びワークショップを実施した。

<支援制度の概要>

- 支援対象者 : 県内観光協会、DMO、観光関連施設、レジャー事業者、県内旅行会社等
- 支援対象経費 : モニターツアー、広告宣伝費、イベント経費等
- 支援額 : 1事業者当たり上限50万円

<支援した商品>

事業所名	実施内容	実施期間	集客人員
JTB 鳥取支店	皆生温泉発 夜の水木しげるロード オブショナルツアー造成	7/21~8/27	29名 (商品販売実績)

ウ 広域観光推進事業

鳥取・岡山両県共同で、ドライブマップを改訂・増刷し、主な高速道路SAのパフレットラックにドライブマップを掲出し、誘客を促進した。(※印刷経費等は両県の協議会が負担)

鳥取・岡山ドライブ マップの改定・増刷	(作成部数) 44,000部 (配布場所) 兵庫・大阪・京都及び中国四国各県の道の駅、本四高速のSA、鳥取岡山両県内の観光案内所、温泉組合及び旅館組合 等
------------------------	--

パンフレットの掲出	(掲出場所) 龍野西SA、西宮名塩SA、土山SA (実施期間) 8月1日～11月30日 (掲出実績) 6,050部
-----------	---

中国地域への誘客及び域内誘客を図るため、中国地域の4県の観光連盟と連携し、各県のイチオシグルメを紹介する特集ページを作成した。

サイト名	「中国5県グルッとグルメ」特設サイト https://dive-hiroshima.com/special/gurutto-gourmet/
公開日	令和6年3月21日
概要	■各県のイチオシグルメ 鳥取県：牛骨ラーメン 島根県：しまね和牛 岡山県：晴寿司（はれずし） 広島県：瀬戸内さかな「あなご」 山口県：ふぐ

エ 観光DX推進事業

デジタル化によって収集されるデータの分析・利活用の取組の一環として、スマートフォンユーザーの位置情報（GPS）を活用し、年齢・性別・訪問歴などでターゲットを絞り、狙った層だけに広告を配信した。併せて、広告配信後の対象者の鳥取県への来訪状況を追跡し、広告効果を把握するとともに今後のマーケティングに活用するためのデータ蓄積を試行した。

実施内容	(株)デイリーインフォメーション社が提供する広告配信プラットフォーム「D-meets」を活用し、県内への誘客が見込める層をグループ化した上で、「蟹取県ウエルカニキャンペーン」のWEB広告バナー配信を実施。
配信期間	令和5年11月1日～令和6年1月31日
配信結果	(表示回数) 3,314,557回 (クリック数) 14,037回 (クリック率: 0.42%) (来県計測結果) 900名

(2) 観光周遊等滞在延長促進事業

決算額 13,716,324円 (13,821千円)

リピーターや個人旅行の増を図り、観光周遊やまちなか観光など滞在時間の延長を促進するため、県内の多様な体験プログラムに関する情報発信や特典付き観光パスポートの発行を行った。

ア 体験プログラム情報発信事業 <県補助>

近年、ニーズが高い体験型観光について、日本最大級のレジャー予約サイト「アソビュー！（asoview!）」と連携して、旅マエ・旅ナカの旅行者に対し、ホームページによる情報発信、リスティング広告（広告掲載）及びアソビュー会員へのメルマガ広告を実施した。

また、登録されている事業者数の増と体験メニューの拡充を図るため、事業者及びメニューの掘り起こしを行った。

<レジャー・体験予約サイト「アソビュー！（asoview!）」の利用実績等>

項目	令和5年度	令和4年度	対前年比
メニュー数	241件	211件	114.2%
予約数	2,322人	3,540人	65.6%

イ 観光パスポート発行事業 <県補助>

観光パスポート「トリパス」を年2回発行し、本県を周遊する楽しみ方等を紹介する特集ページ、観光施設をお得に利用できる割引特典クーポン、応募によって賞品が当たるスタンプラリー

を掲載し、宿泊・周遊・再来訪等を促進した。

令和3年度秋冬版からスマートフォンに対応したデジタル版トリパスを開始したが、令和4年度秋冬版からは、割引等の優待特典情報をデジタル版のみに集約し、さらに観光DX化を進めている。

一方、冊子版に関してもサービスエリアなど旅ナカにおいて県内周遊を促す有効なツールであることから、スタンプブックだけでなく観光冊子としての魅力度も高めるため、デザインをリニューアルした。（リニューアル版は令和6年版から発行）

<トリパスの概要>

名 称	とっとり春旅・夏旅パスポート	とっとり秋旅・冬旅パスポート
実施時期	4月1日～9月30日	10月1日～3月31日
発行部数	7.5万部（A6サイズ・20頁） ※PRチラシ：3万部（A4両面）	7万部（A6サイズ・20頁） ※PRチラシ：3万部（A4両面）
優待特典	参画施設：179施設	参画施設：183施設
応募状況	応募数：4,240通（前年比110.6%） ＜うちデジタルからの応募＞2,725通	応募数：2,303通（前年比85.7%） ＜うちデジタルからの応募＞1,459通

（※）令和6年度からは通年発行に移行

（3）教育旅行誘致促進事業 <県補助> 決算額 13,199,116円（22,390千円）

教育旅行誘致コーディネーターを事務局に1名配置し、受入体勢の充実や各地域の観光プロモーターと連携・協力したプロモーションなど、教育旅行の誘致に取り組んだ。

○教育旅行誘致活動事業

県内の宿泊施設の調整・確保や新たな教育旅行用プログラムの開発など受入体勢の充実を図るとともに、県外の観光プロモーターと連携して、教育旅行に関する情報収集、県外旅行会社等への訪問とプロモーションを実施した。県外旅行会社は、4月に大阪・名古屋、5月に瀬戸内エリア、9月に神戸・山陽地区を訪問した。また、来県した学校に対しては、現地でのアテンド等を通じて鳥取県の受入体制をアピールし、今後の再訪につなげるように取り組んだ。

令和5年度の来県校数は大きく減少したが、教育旅行が本来予定されていた旅行先に回帰していることが大きな要因であるとともに、鳥取県が抱える課題として宿泊施設の受入可能人数の減少やアクティビティ手配の煩雑さといった点が浮き彫りとなってきたと言える。他方面では、長崎の平和学習やプログラムが豊富で関西から行きやすい岐阜県郡上市が増えているそうである。今後は、次期の行先選定入札に向け旅行会社に対する働きかけを行っていく必要がある。

<令和5年度県外修学旅行受入状況> ※数値は学校数、（ ）は生徒数

区分	合計	関西	中四国	中部	首都圏等
令和5年度	44(5,390)	25(3,040)	11(760)	6(1,515)	2(75)
令和4年度	78(8,247)	33(3,788)	33(2,390)	7(1,652)	5(417)
対前年比	56.4%(65.4%)	75.8%(80.3%)	33.3%(31.8%)	85.7%(91.7%)	40%(18.0%)

○教育旅行に係るキャラバン・現地視察会の開催事業

令和5年度については、情報説明会の開催を取りやめ、各旅行会社を訪問する形の旅行会社キャラバンを関西圏と中部圏で実施し、会員からの情報提供と質疑応答を実施した。個別の旅行会社と商談会以上に深い話をする機会となった。

現地視察会については、令和5年8月に関西地区の旅行会社を対象に実施、鳥の劇場でのワークショップや青谷上寺地遺跡等の視察を受け、販売手法などの助言をいただいた。また、令和6年3月には、阪急交通社の若手社員を招聘し鳥取県東部・中部の教育旅行素材を視察いただいた。

さらに、中海・宍道湖・大山圏域観光局の主催による九州地区の旅行会社の現地視察において、勉強会に出席し、鳥取県の教育旅行素材について説明を実施した。

○台湾教育旅行関係者地方視察受入 ※日本政府観光局（JNTO）主催事業

令和5年10月に岡山県観光連盟と連携し、台湾の学校関係者（校長先生）5名にて鳥取県立倉吉東高等学校、鳥取砂丘、倉吉白壁土蔵群、青山剛昌ふるさと館、倉吉関金地区の民泊関連の視察いただいた。台湾の教育旅行は、希望者のみで学校間交流が必須となる。

今後に向け、当連盟作成の「教育旅行ガイドブック」について、翻訳版及び歓迎幕を作成した。

○教育旅行誘致支援補助事業

本県で宿泊を伴う教育旅行を実施する県外の学校に対して、その経費の一部を支援した。

<支援制度の概要>

補助対象者	県外の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から委託を受けた旅行会社
交付要件	・クラス単位以上で実施する旅行 ・県内で1泊以上するもの ・県内で1以上の体験メニューを実施するもの
補助額	1人1泊につき1千円（上限額1学校当たり30万円）
実施状況	19件（対前年比63.3%）、延べ3,179名（対前年比66.4%）

○教育旅行受入プログラム開発

教育旅行の受入拡大に向けて、会員等の協力を得ながらプログラムの開発を進めた。

境港市の水木しげる記念館と連携し、水木しげる氏の戦争体験をテーマにした平和学習プログラム開発を進め、令和6年度より近隣の学校から受入を開始できることとなり、今後は県外からの誘客にむけた情報発信を境港市と連携し進めていく。

鳥取市の鳥の劇場のワークショッププログラムは、旅行会社担当者招聘事業を通じて、今後の誘客にむけた意見交換を実施した。

さらに、平和学習の受入で実績のある兵庫県加西市の鶴野飛行場跡と連携し、関西エリアの学校をメインターゲットとした誘致企画書を作成し、HPへ公開した。

○鳥取県教育旅行誘致促進協議会運営事業

鳥取県教育旅行誘致促進協議会の事務局として、総会の開催、民泊受入協議会等との受入会議、関係者との連絡調整等を行った。

<会議の開催状況>

期日	会議名	参加者	主な検討内容
4/11	民泊受入会議	倉吉市体験型教育旅行誘致協議会、五しの里さじ地域協議会、鳥取県観光交流局、鳥取県観光連盟	令和4年度の修学旅行受入結果について
4/26	鳥取県教育旅行受入検討会議	協議会会員、鳥取県観光交流局、鳥取県観光連盟	令和4年度の修学旅行受入結果について
7/24	鳥取県教育旅行誘致促進協議会総会	協議会会員、鳥取県観光交流局、鳥取県観光連盟	令和4年度活動報告、令和5年度活動計画、役員改選
7/24	鳥取県教育旅行受入検討会議	協議会会員、鳥取県観光交流局、鳥取県観光連盟	旅行会社招致事業、台湾視察受入、キャラバン実施
11/21	民泊受入会議	倉吉市体験型教育旅行誘致協議会、五しの里さじ地域協議会、鳥取県観光連盟	令和5年度受入状況、今後のプロモーションについて
12/20	鳥取県教育旅行受入検討会議	協議会会員、鳥取県観光交流局、鳥取県観光連盟	令和5年度受入状況、今後のプロモーション、先進地視察について

○教育旅行受入先進地視察

関西地区の旅行会社において、学校に高知県を提案するケースが増えているという情報を誘致促進協議会会員からいただいたことから、現地の受入体制を視察するための視察を実施した。高知県は、広域の観光受入組織を整備しワンストップの手配受入体制を実現しており、受入の現状の視察と体験プログラム構築の考え方を学んでもらった。

視察先：幡多広域観光協議会、土佐れいほく観光協議会、須崎市観光協会

帰着後、幡多広域観光協議会のSDGsプログラム作成を参考に、鳥取県内のプログラムを探究型学習にブラッシュアップを図る動きがでている。

(4) 観光人材育成・顕彰事業

決算額 246,668 円 (2,700 千円)

観光業界の現状や課題をふまえ、人材不足やサステナブル・ツーリズムに関する研修会を開催した。また、関係団体が自主的に実施する人材育成事業を支援するとともに、顕彰事業として、関係団体から推薦された者に対して観光事業功労者の表彰を行った。

ア 観光まちづくり人材育成研修事業

○「お客も働き手も引き寄せる」観光業最強セミナー

(開催日) 令和5年11月16日

(参加者) 33名 (オンライン24名、会場9名)

(内容) 人材不足の中、自社の魅力を改めて考え、いかに効果的に情報発信するか、デジタルマーケティングを活用する目的を明確にし、人手不足の解消や観光誘客に繋げることを目指すことを目的に開催。

※鳥取県地域活性化雇用創造プロジェクト推進協議会と共催

○『「持続可能な観光」へ 今できることから始めよう～サステナブル・ツーリズムの現状と地域の課題解決～』セミナー

(開催日) 令和6年2月22日

(参加者) 25名 (オンライン17名、会場8名)

(内容) 「サステナブル・ツーリズム」とはどのような観光スタイルなのか、世界や日本の潮流を学ぶとともに、鳥取県の状況に置き換えて、サステナブル・ツーリズムに取り組むことにどんなメリットがあるのか、具体的に何から始めればよいのか等、他エリアの実践事例も参考にしながら、共に考える機会を設けた。

※公益社団法人日本観光振興協会中国支部助成事業

イ 観光人材育成支援事業

支援団体：0件 (申請なし)

ウ 観光事業功労者及び優良従業員表彰

表彰者数：観光事業功労者2名 (観光ボランティア)

2 誘客対策強化事業 (公益目的事業2)

(1) 県外旅行会社対策事業

決算額 20,543,961 円 (23,000 千円)

首都圏、中部圏、関西圏に観光プロモーターを配置するとともに、事務局が中四国・九州地区を担当することにより、県外旅行会社に対する旅行商品の造成促進・販売支援に取り組んだ。

ア 販売促進活動事業

各圏域において、観光プロモーターが旅行会社の企画造成・販売部門等へ適宜訪問等を実施し、

本県の魅力的な観光素材、新たな旬の情報、支援制度などの情報を提供し、旅行商品の造成・販売促進を積極的に働きかけた。

また、旅行会社への情報提供とツールとして、観光素材やイベント情報等を掲載した「観光素材集」及び「観光素材集別冊 とっとりグルメ・お食事ナビ」、「鳥取県プレミアム観光素材集」の改訂版を作成した。

さらに、会員の事業活動や魅力ある観光地づくりへの支援として、観光プロモーターが収集した各圏域のマーケット情報、主要な旅行会社の動向等を、定期的に会員に情報提供するとともに、会員の要請に応じて同行セールス等を行った。

<観光プロモーターによる商品造成販売の主な内容>

首都圏	<ul style="list-style-type: none"> ○緑映える山陰の庭園 3日間 ○一畑列車と昭和レトロな若桜鉄道乗車の旅 ○大山高原リゾート 5連泊モニターツアー ○大山から眺めるペルセウス座流星群 3日間 ○美食でつづる山陰山陽名湯紀行 3日間 ○2つの助成金を利用して山陽山陰へ！ ○食材の宝庫・鳥取冬の章 3日間
中部地区	<ul style="list-style-type: none"> ○はじめての山陰 3日間 ○山陰名所めぐり 3日間 ○湖上風呂で寛ぐ！出雲・足立・石見 ○山陰ベストハイライト 3日間 ○源泉かけ流し 三朝温泉 ○燕趙園と鳥取砂丘 はわい温泉 ○王道の山陰
関西地区	<ul style="list-style-type: none"> ○天然岩ガキ(夏輝)と鳥取砂丘 ○とっとり弥生の王国と古代出雲の世界 ○白うさぎ伝説ゆかりの3つの神社 ○本ズワイガニ 1杯付かに御膳 鳥取砂丘&湯村温泉街 ○・「あめつち」ツアー・蟹取県グルメツアー・奥大山2連泊ツアー
中四国地区	<ul style="list-style-type: none"> ○浦富海岸絶景遊覧と和牛・海鮮三昧 ○こんな旅をしてみたかったミステリー 2日間 ○うさぎにまつわるスポットを巡る三朝温泉 2日間 ○2つの白兔神社と道の駅巡り ○魅力たっぷり！鳥取・島根 3日間 ○ラドン泉三朝温泉と塩の湯皆生温泉 ○5つのかに日本一 出雲大社・足立美術館・姫路城・鳥取砂丘 2日間

※観光プロモーターの詳細な活動内容は別途一般報告を参照

イ 観光情報説明会開催事業

関西エリア・中部エリア・中国エリアの旅行会社を対象に、旅行商品の造成支援、販売促進のため、春と秋に観光情報説明会・商談会を開催した。春の関西エリアの観光情報説明会については、プロモーターが交代したことため、新任プロモーターの紹介を兼ねて懇親会を開催した。

<観光情報説明会・商談会の開催状況>

	名称	期日	旅行会社	延べ人数	県内参加者	主な旅行会社
1	鳥取県観光情報説明会 商談会（関西地区）	4/18	12社	40名	52名	日本旅行、読売旅行、 JTB、阪急交通社ほか

2	鳥取県観光情報説明会 商談会（中部地区）	4/19	27社	40名	35名	クラブツーリズム、 JTB、阪急交通社ほか
3	鳥取県観光情報説明会 商談会（広島地区）	5/10	13社	30名	21名	日本旅行、東武トップ、 JTB、阪急交通社ほか
4	鳥取県観光情報説明会 商談会（中部地区）	9/13	17社	23名	26名	クラブツーリズム、 JTB、名鉄観光Sほか
5	鳥取県観光情報説明会 商談会（関西地区）	9/14	14社	33名	32名	日本旅行、読売旅行、 JTB、阪急交通社ほか
6	鳥取県観光情報説明会 商談会（広島地区）	9/20	11社	26名	34名	日本旅行、読売旅行、 JTB、阪急交通社ほか

ウ 旅行会社等招致事業

旅行行会社の商品造成担当者を本県に招き、現地研修を実施した。また、JR西日本のディスプレイカバールエスト連絡協議会の主催で実施した研修旅行にも同行し、県内観光施設の案内を行った。

<実施事業>

	旅行会社・支店名	実施日	人	主な視察先
1	JTB・首都圏西エリア 3店舗合同	5/23～25	3	（宿泊）皆生温泉、三朝温泉／（観光地）境港市、北栄町、倉吉市、鳥取市、岩美町
2	エイチ・アイ・エス 関西事業本部国内バス	5/30～31	2	（宿泊）三朝温泉／（観光地）米子市、南部町、倉吉市、鳥取市、岩美町、智頭町
3	クラブツーリズム 名古屋テーマ旅行センター	6/14～15	1	（宿泊）境港市／（観光地）米子市、境港市、大山町
4	JTBエスコート商品 販売事業部	11/6～7	1	（宿泊）皆生温泉／（観光地）米子市、大山町、江府町、倉吉市、三朝町
5	全国農協観光協会	11/10～11	4	（宿泊）鳥取市／（観光地）鳥取市、倉吉市、江府町
6	クラブツーリズム ライフデザイン旅行センター	11/14～16	1	（宿泊）米子市、三朝温泉／（観光地）大山町、伯耆町、米子市、琴浦町、倉吉市、智頭町
7	JTB 東京グループ旅行	12/13～15	2	（宿泊）鳥取市、皆生温泉／（観光地）鳥取市、倉吉市、大山町、境港市
8	JTB 千葉エリア 3店舗合同	12/19～21	3	（宿泊）三朝温泉、皆生温泉／（観光地）鳥取市、倉吉市、南部町、日野町、境港市
9	日本旅行業協会・ 中四国支部	1/17～18	4	（宿泊）三朝温泉／（観光地）境港市、北栄町、倉吉市、鳥取市
10	大丸松坂屋旅行センター	1/19～19	1	（宿泊）三朝温泉／（観光地）八頭町、鳥取市、倉吉市、琴浦町、米子市
11	JTB名古屋・三河エリア 店長会議	2/5～6	23	（宿泊）皆生温泉／（観光地）南部町、北栄町、倉吉市、鳥取市
12	JTB 姫路支店	2/12～13	1	（宿泊）鳥取市／（観光地）鳥取市、倉吉市、北栄町、岩美町
13	日本旅行 関西統括部 店頭スタッフ	2/13～14	5	（宿泊）はわい温泉／（観光地）鳥取市、倉吉市、北栄町、湯梨浜町
14	JTB 神戸エリア 店頭スタッフ	2/21～22	5	（宿泊）三朝温泉／（観光地）八頭町、鳥取市、倉吉市、三朝町、北栄町
15	休暇村大阪センター	3/6～7	3	（宿泊）鳥取市／（観光地）八頭町、若桜町、鳥取市、倉吉市、米子市、伯耆町

<DW連絡協議会協力事業>

	研修名	実施日	人	主な視察先
1	岡山鳥取販売担当者 現地研修	5/24～25	9	(宿泊)八頭町／(観光地)智頭町、鳥取市、 倉吉市、三朝町
2	鳥取造成担当者現地研修	10/2～3	3	(宿泊)境港市／(観光地)伯耆町、日南町、 米子市、境港市、琴浦町、倉吉市

(2) 旅行商品支援事業

決算額 80,541,636 円 (120,000 千円)

県外からの誘客を促進するため、旅行会社が実施するバス旅行、パンフレット作成等の商品造成に対して支援した。

ア 観光需要回復加速化緊急対策バス旅行商品支援事業 <県補助>

コロナ禍がもたらした本県の観光業界の厳しい状況を改善させるため、年間を通じて、本県へのバス旅行を造成・催行する旅行会社に対して支援を行った。

年度前半は、全国旅行支援が継続になったことで、バス旅行商品の設定が多く計画され、催行率の例年に比べ高く維持された。全国旅行支援終了後は、一時的に落ち込みをみせたものの、旺盛な旅行意欲は維持されていたため、比較的安価となる日帰り旅行を中心に多くの旅行が計画された。

<支援制度の概要>

区分	宿 泊	日 帰 り
補助の 条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 団体 9 名以上で催行の県外出発のバスツアー ・ 連盟作成の観光素材集より観光・立寄り 2 か所以上、食事 1 か所以上の採択 ・ 宿泊は、日～金曜日の県内宿泊（土曜日と祝祭日の前日は半額） ・ 日帰りは、月～金曜日（土・日曜日、祝祭日は半額） ・ 2 泊以上の場合は、同条件を泊数分追加 	
補助期間	申請：令和 5 年 1 月 1 日～令和 6 年 2 月 1 6 日 催行：令和 5 年 4 月 1 日出発～令和 6 年 3 月 3 日帰着	
補助内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス 1 台当たり 60 千円 ・ 1 事業所当たり 4,000 千円上限 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス 1 台当たり 30 千円 ・ 1 事業所当たり 2,000 千円上限
事業費	100,000 千円	
実施額	52,080 千円	19,740 千円
	71,820 千円	
実施結果	実施件数：519 件 バス台数：937 台 利用実績：24,634 人 催行率：86.7%	実施件数：400 件 バス台数：784 台 利用実績：26,319 人 催行率：90.3%

※宿泊の交付額は 1 泊当たり。

イ バス旅行商品支援事業 <県補助>

令和 5 年度は、通年で下記「観光需要回復加速化緊急バス旅行商品支援事業」を実施したため、本事業は実施しなかった。

ウ 旅行商品造成支援事業 <県補助>

①旅行商品造成支援事業

本県の旅行商品や観光素材の露出を高めるため、県外の旅行会社が造成する団体向け旅行商品に対して、パンフレット作成、広告宣伝費、WEB サイト構築経費、店頭販売促進活動等に要する経費の一部を支援した。

<支援制度の概要>

補助条件	<ul style="list-style-type: none"> ・団体向けの募集型企画旅行又は受注型企画旅行 ・連盟作成の観光素材集に掲載された観光素材を1か所以上活用した事業 ・商品造成に必要な経費（チラシ・パンフレット印刷代、版下作成費、WEBサイト構築経費、新聞広告費・折込費、ダイレクトメール発送費、店頭販促費等）を対象とする。
補助期間	令和5年4月1日～令和6年3月10日
補助内容	1事業所 500千円を上限
事業費	7,500千円
実施額	777.5千円（対前年比 56.3%）
実施状況	4件（対前年比 80.0%） 323名
主な案件	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の奥大山をグルメと大自然で楽しむ！ ・タグ付き松葉がに会席を味わう 冬の山陰名湯巡り ・5つの「かに日本一」を持つ鳥取県で食す！出雲大社・足立美術館・姫路城・鳥取砂丘（星取県） ・三朝&皆生 山陰名湯2つの温泉

②白うさぎ年・うさぎの聖地とっとり推進事業

令和5年の干支はうさぎ年であり、鳥取県は神話「因幡の白うさぎ」の舞台であることから、白うさぎの聖地として鳥取を認知してもらい、うさぎ年をきっかけにした交流人口拡大を目指してうさぎに関わる場所を組み込んだ宿泊付旅行商品の造成・販売を支援した。

<支援制度の概要>

補助条件	<ul style="list-style-type: none"> ・募集型企画旅行又は受注型企画旅行の団体旅行 ・鳥取県内に1泊以上する旅行商品 ・うさぎに関わりのある観光素材を2箇所以上立寄りし、県内で1か所以上食事をとること ・商品造成に係わる宣伝・販促経費を支援
補助期間	令和5年4月1日～令和5年12月31日帰着
補助内容	1事業所販促経費100千円および宿泊人員1名につき5千円
事業費	4,000千円
実施額	2,240千円
実施状況	8件 448名
主な案件	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの白兔神社と道の駅めぐり ・6つの絶景を巡る鳥取県モニターツアー3日間 ・因幡の白うさぎゆかりの3つの神社とはわい温泉2日間 ・出雲大社・倉敷・後樂園・鳥取砂丘・最上稲荷・足立美術館3日間

エ 旅行会社広告宣伝支援事業

①旅行会社広告宣伝支援事業 <一部県補助>

コロナ禍以降、団体旅行から個人旅行へと旅行の形態がシフトし、販売形態も紙パンフレットからWEBへとシフトしていることに対応し、旅行会社のホームページにおいて広告宣伝として鳥取県の観光情報発信を支援した。

<支援制度の概要>

補助条件	<ul style="list-style-type: none"> ・個人行動主体の募集型企画旅行の販売促進を目的とする ・ホームページ上に鳥取県の観光情報をA4相当4ページ以上掲載 ・入り口となるバナーをトップページに設置 ・旅行商品予約が完結できる導線の確保
------	--

補助期間	【第Ⅰ期】令和5年4月1日～令和5年6月30日 【第Ⅱ期】令和5年7月3日～令和6年3月10日（県補助）
補助内容	公開期間1か月 100千円 公開期間3か月 200千円
事業費	5,000千円
実施額	第Ⅰ期：600千円 第Ⅱ期：1,600千円
実施状況	第Ⅰ期：3件 第Ⅱ期：8件
主な案件	・近畿日本ツーリストブループラネット ・エルオルト ・JTB ・日本旅行 ・東武トップツアーズ ・エイチ・アイ・エス ・ビッグホリデー

②WEB旅行会社と連携した誘客促進業務＜県委託＞

コロナ禍以降、拡大傾向にある個人旅行において、シニア層の旅行の獲得にむけた誘客プロモーションをシニア層に強い「ゆこゆこ」と連携して実施し、かにシーズンの誘客拡大につなげた。

＜実施内容の概要＞

実施内容	・10月発行の会員誌への鳥取県特集の掲載 ・ゆこゆこホームページへの特集ページ掲載 ・割引クーポン配布
実施期間	令和5年10月15日～令和6年1月31日
事業費	3,500千円
実施額	3,151千円
実施状況	2,750名（クーポン利用）/8,999名（期間中宿泊実績）

（3）インバウンド誘客活動支援事業

決算額 0円（500千円）

会員による海外客の誘致活動については、支援実績なし。

（4）緊急時観光振興対策措置事業

決算額 0円（2,500千円）

対象となる天災等の緊急事態が発生しなかったため、実績なし。

3 誘客キャンペーン事業（公益目的事業2）

（1）鳥取きなんせキャンペーン事業

決算額 35,600,380円（42,386千円）

グルメ等をテーマにしたキャンペーン、県外旅行会社等と連携した誘客活動のほか、コロナ禍に対して県が実施する観光需要喚起策の情報発信などの業務を実施した。

ア 蟹取県ウェルカニキャンペーン事業 ＜県委託＞

秋冬シーズンの観光誘客を図るため、県内宿泊施設に宿泊した方に「鳥取のカニ」をプレゼントするキャンペーンの応募受付業務を行った（賞品のカニ発送を含む）。

実施期間	令和5年9月1日～令和6年2月29日（6ヶ月間）
応募状況	応募総数：13,293件（対前年比74%） [応募の多い県（本県を除く）] ＝兵庫県1,982件、大阪府1,849件、岡山県1,649件、広島県1,322件
情報発信	・パンフレットを県内外で配布 ・「宿泊でチャンス！」応募フォームの作成等 ・観光ガイドマップに広告掲載

	<ul style="list-style-type: none"> ・「宿泊でチャンス！」応募者の中から毎月 100 名に鳥取県の旬のカニを進呈 ・県内向けのPRとして日本海新聞に広告出稿 ・位置情報DPS「D-meets」を活用したWEBバナー広告
--	---

イ イベント活用誘客キャンペーン事業

旅行会社や旅行業者団体等と連携・協力して、旅行商品の販売時期に合わせて店舗や集客施設等で観光PRやプレゼントキャンペーンなど誘客キャンペーンを実施した。

また、ツーリズムEXPOジャパン2023は、関西開催であることから規模を拡大して出展し、旅行会社との商談及び観光情報発信を行った。

さらに、本県へのアクセスポイントである中国自動車道や米子自動車道サービスエリア(SA)でのPRイベントを通じて、県内観光地への誘客を図った。

	タイトル(会場名等)	実施日	実施事項
1	JTB金山店販促プロモーション	4/8～5/14	鳥取県コーナー設置、キャンペーンプレゼント(申込者)実施
2	JTBのリアル店舗を活用したプロモーション	5/8～9/30	JTB首都圏西エリア3店舗で、店頭ディスプレイ、お得意様向けセミナーの開催等
3	東京シティアイ鳥取県PRイベント	5/18～19	アドベンチャーツーリズムをメインとした観光素材の情報発信
4	阪急交通社梅田支店観光プロモーション	6/1～14	阪急交通社梅田支店店頭での鳥取県情報発信
5	第9回夏山フェスタ	6/3～4	登山愛好家のイベントに出展 大山・投入堂・氷ノ山をPR
6	JTB三河エリア6店舗を活用した観光プロモーション	6/10～ 7/31	JTB三河エリア6店舗で店頭での情報発信と申込者プレゼント 〈連動イベント:大型ショッピングセンター2か所でイベント開催〉
7	JTB広島エリア3店舗を活用した観光プロモーション	9/1～30	JTB広島エリア3店舗で店頭での情報発信と申込者プレゼント(ひろしま旅行ナビ連携)
8	ひろしま旅行ナビ2023	9/2～3	イオンモール広島府中での鳥取県情報発信と物販イベント出展
9	JTBトラベルゲート新宿マルイを活用したプロモーション	10/1～31	店頭ディスプレイ、お得意様相談会および抽選会の開催
10	ツーリズムEXPOジャパン2023	10/26～29	日本最大の旅行博に規模拡大で出展 旅行会社等と商談、観光情報の発信
11	JTBのリアル店舗を活用したプロモーション	11/1～30	JTBトラベルゲート三ノ宮で、店頭ディスプレイ、申込者プレゼント等
12	日本旅行リアル店舗を活用したプロモーション	11/1～30	日本旅行天王寺、高槻2店舗で、店頭ディスプレイ等
13	JTBのリアル店舗を活用したプロモーション	11/1～ 1/31	JTB首都圏西エリア3店舗で、店頭ディスプレイ、お得意様向けセミナーの開催等
14	JTBのリアル店舗を活用したプロモーション	11/1～ 1/31	JTB千葉エリア3店舗で、店頭ディスプレイ等
15	東京シティアイ鳥取県PRイベント	11/9～10	鉄道をメインとした観光素材の情報発信
16	ANTA国内活性化フォーラム	2/15	ANTA全国大会で鳥取県情報発信ブース設置
17	日本観光社鳥取県観光PRイベント	2/9～3/31	鳥取県コーナー設置、キャンペーンプレゼント(申込者)実施

<中国道等のサービスエリアでのPRイベント>

次の日程で、パンフレット・ノベルティ配布、SNSキャンペーン等を実施

	タイトル(会場名等)	実施日	PR内容
1	中国自動車道SA(加西下り)	4/22	GW向け、春季イベント等
2	中国自動車道SA(加西下り)	7/8	夏休み向け、夏季イベント等
3	中国自動車道SA(加西下り)	9/9	蟹取県、秋季イベント等
4	米子自動車道SA(蒜山下り) (NEXCO西日本株式会社 米子高速道路事務所との共催事業)	11/3	冬季イベント等
5	中国自動車道SA(加西下り) (NEXCO西日本株式会社 米子高速道路事務所との共催事業)	11/11	冬季イベント等

<中国自動車道サービスエリアでのパンフレット配架(通年)>

- 加西SA(下り) / 4枠、加西SA(上り) / 2枠、
- 宝塚北SA / 2枠、大津SA(下り) / 2枠、西宮名塩SA(下り) / 2枠

ウ ポストコロナ誘客促進事業

個人対象の全国旅行支援が6月で終了するため、その反動の影響の軽減を図るため、福利厚生代行会社のリロクラブと連携し、夏のファミリー旅行の需要吸収を目的に特定会員組織を対象にした誘客キャンペーンを実施した。

<実施内容の概要>

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会員向けホームページに鳥取県特集ページを掲載 ・会員向けアプリホームに特集バナー掲出 ・会員対象のメールマガジン送信 ・鳥取県宿泊補助キャンペーン及びレジャー優待クーポン配布
実施期間	令和5年7月1日～9月30日
事業費	1,980千円
実施状況	1,976人泊

エ 新型コロナから立ち上がる観光支援キャンペーン事業 <県委託>

昨年度に引き続き、観光需要喚起策として、県が実施する新型コロナから立ち上がる観光支援事業「ウェルカニとっとり得々割」について、特設ページの運営や情報発信業務の一部を県から受託実施した。

なお上記キャンペーンの宿泊施設等登録、問い合わせ、支払い等の運営業務については、株式会社JTB鳥取支店と当連盟の共同企業体が業務を受託して実施した。

(1) 特設ホームページの運営

設置開始日 令和4年10月4日～令和6年1月31日

(2) 情報発信

上記特設ホームページや新聞等を通じて、キャンペーンに関する情報を発信した。

(3) 人材派遣

業務を円滑に行うため、キャンペーン事務局に派遣する職員を確保した。

① 採用人数：2～3名

② 派遣期間：令和4年4月1日～令和6年1月31日まで

[参考:「ウェルカニとっとり得々割」実施状況]

実施期間	令和4年10月1日 ～12月27日	令和5年1月10日 ～9月30日 (※)個人旅行客向けは6月30日まで
割引率	旅行代金の40% または各商品上限額	旅行代金の20% または各商品上限額
割引上限額	・交通付き旅行商品 8,000円	(同左) 5,000円
(1名1泊)	・交通なしの宿泊旅行商品及び 日帰り旅行商品 5,000円	(同左) 3,000円
	・日帰り温泉、観光施設・体験 アクティビティ 1,000円	(なし)
クーポン券	平日 3,000円 (旅行代金5,000円以上)	平日 2,000円 (旅行代金3,000円以上)
	休日 1,000円 (旅行代金2,000円以上)	
[利用可能施設] 飲食店、土産物店、交通機関、日帰り温泉、観光施設、 体験アクティビティ		

(2) 緊急時観光振興対策措置事業

決算額 2,598,015円 (7,300千円)

令和5年8月の台風7号の被害に関するマスコミ報道等の影響による県内観光産業への風評被害を防止するため、連盟の公式ホームページ内に特設ページを開設するとともに、SNSを活用したキャンペーンや広告掲載を行うことにより「元気な鳥取県」をアピールした。

- 特設ページ「鳥取は元気です！」の開設 (8月18日～)
- SNSキャンペーンの実施 (8月23日～9月21日)
- SNSやWEB広告を活用した情報発信
 - ①実施方法: Yahoo!ディスプレイ広告、Facebook 及びX (旧 Twitter)
 - ②実施期間: 8月30日～9月12日
 - ③広告の対象エリア

首都圏	東京都、神奈川県
中京圏	愛知県、静岡県
関西圏	京都府、大阪府、兵庫県
中国地方	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国地方	香川県、徳島県、愛媛県、高知県

- ④結果:インプレッション数:2,059万回 (うちクリック数:127,230回)

4 観光情報発信事業 (公益目的事業2)

(1) 観光情報発信強化事業

決算額 27,166,762円 (32,617千円)

ホームページ、SNS、マスメディア、タウン誌等を活用した広報宣伝を通じて、本県の観光情報を県内外に発信した。

ア 情報発信ツール刷新事業

連盟公式ホームページ「とっとり旅」サイト訪問者の属性データを分析し、効果的な情報発信に繋げるため、外部事業者のアドバイスを得ながら、アクセス解析ツール「Google アナリティクス (GA4)」の本格的な活用方法を整理した。

イ 観光PR事業 <一部県委託>

印刷物・ホームページ・SNS等を活用し、本県の観光魅力を県内外にアピールした。

<連盟ホームページでの情報発信>

県内の観光情報を「イベント情報」「参加者募集」「おすすめ情報」として随時掲出した。

また、「春の花」、「夏の海」、「秋の梨」、「冬のイルミネーション・ゲレンデ」など、四季に応じた特集や、県内の注目を集めるイベントを紹介する特集ページを作成・掲載した。

[新設分のみ]

掲載月	特集テーマ	内容	備考
4月	刀剣たたら歴史探訪特設ウェブページ	古来より良質な砂鉄が採れる県内西部・中部の「たたら文化」が体験できるスポットを紹介	4/28～
5月	「白うさぎ年」特設ウェブページ	県内のうさぎにまつわるスポットを紹介	4/28～
6月	とっとりお土産ガイド	鳥取県各地の人気・おすすめのお土産を紹介	6/5～
8月	映画『SAND LAND(サンドランド)』応援企画	映画『SAND LAND』の公開にあわせてキャンペーンや映画情報を発信	8/18～10/31
8月	特設ページ「鳥取は元気です！」(台風7号風評被害対応)	県内の宿泊施設・観光施設等の正確な状況や各種キャンペーンの情報を発信	8/18～1/12
9月	すばらしき鳥取ノスタルジー 鳥鐵旅(山陰本線・東編)	鳥鐵旅山陰本線・東編(駅印帳)特集	9/29～
11月	若者必見!とっとり旅 グルメ&アクティビティを2泊3日で満喫	広島経済大学「若旅促進プロジェクト」と連携し、若者視点のモデルコースを作成の上、サイト上で紹介	11/30～
12月	とっとり女子旅モデルコース	女性インフルエンサー2名を招聘し、グルメ、ひとり旅をテーマにしたモデルコース(4コース)を作成・サイト上で紹介	12/22～
1月	2024年は辰年!鳥取県内の辰にまつわるスポット	鳥取県内の辰にまつわるスポットを紹介	12/28～
1月	スーパーはくと 名探偵コナン号運行開始!	「名探偵コナン」のキャラクターで装飾されたスーパーはくと名探偵コナン号の車両や沿線の観光地を紹介	1/17～
2月	すばらしき鳥取ノスタルジー 鳥鐵旅(車両所編)	鳥鐵旅車両所編特集	2/15～
3月	各県イチオシグルメ(今注目のご当地グルメ!)	中国5県観光連盟連携事業。各県のご当地グルメを紹介	3/21～

(※) 上記のほか、四季に応じた特集ページを作成

<連盟ホームページ内の広告枠の設置>

当連盟のホームページの膨大なページビューを最大限に活用し、会員がインターネット上の広告媒体として利用できるよう、大/小のバナー広告枠を設けた。

・B枠(縦 50×横 320pix) とっとり花回廊(2ヶ月)、ビザビ(12ヶ月)

< SNSでの情報発信 >

フェイスブック、ツイッター、インスタグラムによる定期的な情報発信に加え、ホームページの特集記事と連携した SNS 広告の実施、地域観光事業支援（県民割・ブロック割）や全国旅行支援の促進を目的とした SNS プレゼントキャンペーンを複数回実施した。

媒体	フォロワー数（対前年比）
フェイスブック（Facebook）	8,613 人（415 人増、105.1%）
エックス（X）	22,720 人（3,702 人増、119.5%）
インスタグラム（Instagram）	16,449 人（1,422 人増、109.4%）

[SNS キャンペーン]

○ 白うさぎ年・兎の聖地とっとり魅力発信キャンペーン					
媒体	インスタグラム	期間	7/31～8/31	応募結果	423 件
連盟のインスタグラムをフォローし、ハッシュタグ「#うさぎの聖地とっとり」を付けてうさぎに関連するスポットの写真とコメントを投稿した方に対し、抽選で27名（8+9+10「[白兎]ハ・ク・ト」）に鳥取県のうさぎにまつわる賞品をプレゼント。					
○ 「鳥取は元気です」 SNS キャンペーン					
媒体	X	期間	8/23～9/21	応募結果	9,395 件
連盟の X をフォローし、連盟の“鳥取は元気です”投稿をリポストした方に対し、抽選で50名に三朝温泉コスメセットと鳥取の梨をプレゼント。					
○ 鳥取の日本遺産キャンペーン					
媒体	X	期間	10/31～11/12	応募結果	1,651 件
連盟の X をフォローし、当該投稿をリポスト（#鳥取の日本遺産 をつけて県内4つの #日本遺産 の感想を引用リポストで当選率UP）した方に対し、抽選で52名に日本遺産認定4地域に関連する賞品をプレゼント。					

[SNS 広告]

実施期間	配信内容	媒体
R5. 6. 2～6. 15	因幡・伯耆國刀剣たたら歴史探訪	Facebook、X
R5. 7. 18～7. 31	ととりの夏 2023	Facebook、X
R5. 8. 26～9. 8	鳥取の梨	Facebook、X
R5. 10. 18～10. 31	鳥取県の紅葉見どころマップ	Facebook、X
R5. 11. 1～11. 14	ゆったり温泉かにざんまい	Facebook、X Instagram
R5. 12. 26～R6. 1. 8	開運神社巡り	Facebook、X Instagram
R5. 12. 26～R6. 1. 8	イルミネーション・ゲレンデガイド	Facebook、X
R6. 1. 22～2. 4	スーパーはくと名探偵コナン号	Facebook、X Instagram
R6. 3. 4～3. 17	お花見情報	Facebook、X

< テレビ・新聞・雑誌等マスメディアの活用 >

○ 日本海テレビが運営する鳥取・島根ローカルWEBマガジン「na-na(ナーナ)」とタイアップしてまとめ記事を作成し、公開後には連盟ホームページに掲載した。

- ・「見て 食べておいしい鳥取SNS映えスイーツ巡り」
(第一弾) 8月～ (第二弾) 12月～

○話題のスポットや地元ならではの穴場情報を紹介するエリア紹介番組において、開運グッズやスタンプラリーによる旅の提案を行い、「因幡伯耆國開運神社巡り」を県内外の方にPRした。

(番組名) 『わがまま!気まま!旅気分』
(放送エリア) 山陰、山陽、近畿、四国
(放送日) 8月下旬～9月上旬

○広島経済大学若旅プロジェクトと連携し、鳥取県の一般的な観光地だけでなく、学生ならではの視点で県内観光資源を発掘し、県内を2泊3日で巡るモデルコースを造成した。(造成したコースは「とっとり旅」に掲載)

○グルメ及びトラベル系インフルエンサーの視点で選定した県内観光地やグルメスポットを周遊するモデルコースを作成し「とっとり旅」に掲載した。併せて、同インフルエンサーがInstagram上で投稿を行い、県内の観光情報を広くPRした。

テーマ	ひとり旅	グルメ旅
インフルエンサー	Ayane さん @ayane7628	かおしさん @cao_life グルメ系インスタグラマー
フォロワー数	約 28.8 万人	約 11.5 万人
担当コース	・とっとり旅でリフレッシュコース (1泊2日) ・はじめてのとっとり満喫コース (2泊3日)	・大満足のとっとり食べ歩きコース (1泊2日) ・とっとりグルメ満喫コース (2泊3日)
投稿実績 (R6.1.31時点)	平均リーチ数：26,033 平均エンゲージメント数：2,003	平均リーチ数：6,151 平均エンゲージメント数：423

<観光ガイドマップの作成>

開運神社巡り、トリパス、観光デジタルマップ、蟹取県ウェルカニキャンペーン等、時宜を得た広告を掲載しながら、4回増刷し(うち1回は簡易版)、県内を中心とした観光施設、宿泊施設や道の駅などに配架した。(作成部数：20万部(うち5万部は簡易版))

<観光カレンダーの作成>

「鳥取に恋する小さな旅人」をテーマに、印象的な写真により本県をアピールする令和6年版カレンダーを作成し、県外の観光プロモーターや県の県外事務所が販促ツールとして活用した。

(2) とっとり観光親善大使活動事業

決算額 140,509円 (500千円)

県内外の各種観光PRイベント、テレビやラジオ番組出演等による観光PR活動に「とっとり観光親善大使」を派遣し、本県への誘客を図った。

<派遣実績> 派遣回数11回(昨年度16回)、延べ12人(昨年度19人)

派遣内容	県外	県内	合計
観光PRイベント	7回	2回	9回
テレビ、ラジオ、新聞出演等	2回		2回

(3) とっとり観光達人活動事業**決算額 60,560 円 (1,000 千円)**

県内観光業界の現場の第一線で活躍する観光関係者の中から、卓越した知識・経験等を有する者2名を「とっとり観光達人」として、連盟ホームページ内の特集ページで紹介した。

(4) 優良推薦観光みやげ品PR事業**決算額 414,419 円 (1,500 千円)**

本県の観光みやげ品の内容・評価を高めるために「優良観光みやげ品」の認定を行うとともに、認定制度自体の活性化のための活動や、みやげ品に関心が高まることが本県への観客促進につながるよう、広く観光みやげ品をPRする取組を行った。

<審査会>

(日 時) 令和5年10月23日 (会場) ホテルセントパレス倉吉

(審査員) 鳥取県観光みやげ品協議会長ほか 計8名

(指 定) 19品目、26商品(昨年度は15品目、25商品) ※期間は2年間

(その他) 新規出品者や商品数を増やす工夫を行った。

<優良観光みやげ品のPR・情報収集>

- ・連盟ホームページによる広報
- ・県外のイベント等でのPR(8月5日～6日、とっとり・おかやま新橋館)
- ・当連盟が実施するプレゼントキャンペーン等での当選商品に活用

<本県の観光みやげ品全般のPR>

- ・旅行会社向け「観光素材集別冊 とっとりグルメ・お食事ナビ」に掲載
- ・連盟ホームページ内専用ページの情報更新
- ・連盟ホームページ内専用ページを活用したSNS広告(実施期間:3月22日～31日)

(5) フィルムコミッション事業 <県補助> 決算額 10,049,994 円 (10,660 千円)

「鳥取県フィルムコミッション」の専任職員を2名配置し、映画、テレビドラマ、テレビ番組、CM、プロモーションビデオ、広告写真などのロケーション撮影が円滑に行われるよう、支援業務や誘致活動を行った。また、引き続き、「とっとり映像ライブラリー」の素材収集に努め、映像・画像依頼に対応できる体制を整えた。

夏には国道29号線沿い(鳥取～姫路)を舞台とした映画『ルート29』(令和6年初秋公開予定)のロケ撮影が1ヶ月以上にわたって行われたことから、ロケ候補地の情報収集、エキストラ募集、公的機関への許認可手続き、ロケハン、ロケーション撮影の同行など、撮影前から終了まで全面的な支援を行った。

<主な取組内容>

- ・ロケ候補地の情報収集と制作会社等への情報提供
- ・撮影ボランティアエキストラなどの募集、手配の協力
- ・国、県、市町村、警察など公的機関への必要な許可申請手続の案内、協力
- ・宿泊施設、飲食店、弁当、各種資器材業者、ロケバス車両等の紹介
- ・ロケハン、ロケーション撮影の同行
- ・ホームページの開設運営(ロケ地情報の充実)、SNSによる支援作品の情報発信
- ・全国ロケ地フェア参加、ジャパンFCへの加入等を通じたロケーション撮影の誘致
- ・特設サイト「鳥取砂丘ロケーションガイド」の作成
- ・映像制作者の目線で撮影したロケーション動画の作成

<ロケ支援等の状況>

	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R元年度	H30年度
問合せ件数	126	198	210	140	107	92
放送・公開・出版件数	72	99	125	97	58	47

<主な支援作品>

- ・映画『ルート29』（令和6年秋公開予定 ※綾瀬はるか主演）
- ・Amazonプライムほか配信短編映画「銀河健康センター」（令和6年4月公開）
- ・アサヒビール「マルエフ 中国編」TVCM（令和6年2月公開）
- ・山梨放送TVドラマ『ミッドナイトファイナルアプローチ』（令和6年3月公開）

<とっとり映像ライブラリー>

県外の旅行会社やマスコミ等を対象とした、観光映像素材の閲覧・利用申請サイト「とっとり映像ライブラリー」を運用するとともに、新たに県内観光地の動画・静止画を収集した。

公開日	令和3年2月15日
収録動画	157本 ※令和6年3月31日現在
利用件数	51件
アドレス	https://www.tottori-guide.jp/movie-lib

5 会員等との連携事業（相互扶助等事業）

（1）他団体等との連携支援事業

決算額 457,400円（3,000千円）

会員等の県内の他団体と連携・協力して、東京都内で開催された大規模イベントに出展し、本県の観光魅力をPRした。

連携団体	活動内容	場所	連携内容
岩美町観光協会	第32回マリンダイビングフェア 共同出展	池袋サンシャインシティ文化会館	ブースの出展料に係る経費を支援
鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合	宿フェス2024 共同出展	東京ビックサイト	ブースの出展料に係る経費を支援

（2）地域別連携推進事業

決算額 32,800円（200千円）

各地域のDMO・観光協会・行政関係者を個別訪問し、各地域が抱える課題等について幅広く議論し、課題解決に向けた意見交換や情報共有を行った。併せて、各圏域DMO・各観光協会及び当連盟の令和5年度及び6年度の事業計画、今後の展開等の情報共有を行った。

6 収益事業（収益事業）

（1）観光関連商品作成事業

決算額 1,654,294円（1,100千円）

本県の観光PRに資する商品として、観光名刺（台紙）を作成し販売した。
また、開運神社巡り事業の周遊促進ツールとして開運手ぬぐいを作成した。

7 その他

連盟の総会、理事会、監査等を次のとおり実施した。

(1) 総会

ア 通常総会

- 開催日 令和5年6月27日
場所 ホテルセントパレス倉吉
議事
・令和4年度事業報告について
・令和4年度収支決算について
・役員改選について
・役員報酬及び費用に関する規程の改正について
報告事項
・令和5年度補正予算について
・令和5年度観光事業功労者及び優良従業員表彰について

イ 臨時総会

- 開催日 令和6年3月22日
場所 ホテルセントパレス倉吉
議事
・定款の変更について
・役員選任について
・役員報酬及び費用に関する規程の改正について
・令和5年度補正予算について
報告事項
・令和6年度事業計画について
・令和6年度収支予算について

(2) 理事会

ア 通常理事会 (第1回)

- 開催日 令和5年6月6日
場所 エキパル倉吉
議事
・令和4年度事業報告について
・令和4年度収支決算について
・令和5年度補正予算について
・会員入会について
・令和5年度観光事業功労者及び観光事業優良従業員表彰について
・通常総会の招集について
協議事項
・役員改選について

イ 臨時理事会 (第1回)

- 開催日 令和5年6月27日
場所 ホテルセントパレス倉吉
議事
・役員改選について
・役員報酬及び費用に関する規程の改正について

ウ 臨時理事会 (第2回)

- 開催日 令和5年6月27日
場所 ホテルセントパレス倉吉
議事
・会長選任について
・副会長及び代表理事の選任について
・専務理事の選任について
・会員入会について

エ 臨時理事会 (第3回) ※書面表決

- 表決日 令和5年9月6日

議 事 ・ 令和5年度補正予算について

オ 臨時理事会（第4回）

開 催 日 令和5年9月27日

場 所 エキパル倉吉

議 事 ・ 令和5年度補正予算について
・ 会員の入退会について

職務執行状況報告

協議事項 ・ 台風7号に係る風評被害防止対策について
・ 情報発信事業の実施状況について
・ 「蟹取県ウエルカニキャンペーン」の実施について
・ 観光誘客促進活動の実施状況について
・ 台湾からの訪日旅行の受入業務について
・ 内閣府公益認定等委員会事務局による立入検査の結果について
・ 令和3年度及び4年度の収支決算に係る資料の一部訂正について

カ 臨時理事会（第5回）※書面表決

表 決 日 令和6年1月26日

議 事 ・ 内閣府に対する変更認定申請について

キ 通常理事会（第2回）

開 催 日 令和6年2月29日

場 所 セントパレス倉吉

議 事 ・ 令和5年度補正予算について
・ 令和6年度事業計画について
・ 令和6年度収支予算について
・ 会員の入退会について
・ 定款の変更及び内閣府に対する変更認定申請について
・ 臨時総会の招集について

職務執行状況報告

協議事項 ・ 役員の報酬及び費用に関する規程の改正について
・ 役員の選任について

○ 監 査 実 施 日 令和5年6月1日
場 所 鳥取市内（連盟事務所内）
事 項 令和4年度事業実施状況及び収支決算状況

（3）市町村及び市町村観光協会の会費見直しの検討

市町村及び市町村観光協会の会費の見直しについて、より適切に受益を反映した配分方法等が必要なことから、コロナ禍後の県内の観光需要の回復と安定が見込まれる令和7年度以降の実施に向けて検討を継続することとした。

（4）職員研修

事務局職員のスキルアップのため、関係機関等が開催する研修会等に参加した。

